

厚生労働大臣メッセージ

はじめに、本年7月に発生した熊本地震及び8月に発生した千葉豪雨等により、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、ご遺族と被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

赤い羽根共同募金運動は、戦後間もなく始まり、本年度で80回目の節目を迎えます。長年にわたり、多くの国民の皆様の温かい善意に支えられ、地域福祉の推進に大きな役割を果たしてきました。

現在、少子高齢化や人口減少の進行、単身世帯の増加といった社会構造の変化に加え、孤独・孤立の深刻化など、地域社会を取り巻く課題は一層複雑化・多様化しています。

こうした中、共同募金は、地域に暮らす人々の支え合いの気持ちを形にし、地域で福祉活動やボランティア活動に取り組む団体の活動を後押しすることで、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりに大きく貢献しています。

80回という節目を迎えた本運動が、これからも多くの方々のご参加とご協力のもとに発展していくことを期待するとともに、寄せられた募金が地域福祉を支える様々な団体の活動資源として活用され、人と人とのつながりを育みながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりに生かされることを願っています。

一方で、今般、北海道共同募金会において発生した事案を重く受け止めています。共同募金に対する国民の皆様の信頼を確かなものとするため、厚生労働省としても、中央共同募金会とともに再発防止と信頼回復に取り組んでまいります。

本年も、多くの皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

令和8年10月1日 厚生労働大臣

上野 賢一郎